

# 香川大学教育学部生物学教室所蔵さく葉標本に基づく 香川県産希少野生植物の記録

篠原 渉<sup>1</sup>・久米 修<sup>2</sup>

<sup>1</sup>〒760-8522 高松市幸町1-1 香川大学教育学部生物学教室

<sup>2</sup>〒761-8074 高松市太田上町78-11

## Records of Rare Plant Species in Kagawa Prefecture Based on the Specimens Deposited in Laboratory of Biology, Faculty of Education, Kagawa University

Wataru Shinohara<sup>1</sup> and Osamu Kume<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Laboratory of Biology, Faculty of Education, Kagawa University, Takamatsu 760-8522, Japan

<sup>2</sup>78-11, Ootakamimachi, Takamatsu 761-8074, Japan

香川大学教育学部に収蔵されているさく葉標本の約半数は1960年代から1970年代にかけて香川県で採集されたものであることがわかっている(篠原 2014)。またこれらの標本のラベルのデータベース化から簡易に目的の標本を探索することが可能となった。そこで本研究ではデータベースと標本画像をもとに香川県の希少野生植物種の効率的な探索を行った。その結果、10種の希少な在来種と、2種の今では希少となった帰化種が見つかった。在来種に関しては現在の香川県では生育が確認できないか、生育地が数か所に限定されているものであり、今回見つかった標本はこれらの種が香川県に確かに生育していたという重要な証拠となる。またこれら希少な在来種10種については香川県のレッドリストに掲載される可能性が高い。希少な在来種のうち、4種については環境省のレッドリストの対象種であった。

<在来種>

アゼスゲ *Carex thunbergii* Steud. (図1A)

高松市新川堤 1961年4月24日 高橋良平採集(標本No.1358)

これまでは香川県での記録は1988年に長尾町多和で採集されたもの(三谷1992)のみである。今回見つかった標本は、これより古く、平野部で採られたものである。

ミズトンボ *Habenaria sagittifera* Rchb.f. (図1B)

綾南町 1967年9月24日 高橋良平採集

これまでは香川県での記録は善通寺市、さぬき市のみである。環境省第4次レッドリスト(2012)において絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。

ツレサギソウ *Platanthera japonica* (Thunb.) Lindl. (図1C)

長尾町農学部演習林(現在の地名では、さぬき市前山太郎兵衛香川大学演習林) 1967年5月20日 高橋良平採集(標本No.3354)

これまでは香川県での記録はなかった。



図1. 香川大学教育学部生物学教室に収蔵されている香川県の希少野生植物の標本

(A: アゼスゲ, B: ミズトンボ, C: ツレサギソウ, D: ミツバオヘビイチゴ, E: ヒメタデ, F: アブノメ, G: キセワタ, H: ヤマトツナミソウ, I: タウコギ, J: アキノハハコグサ, K: ヒメクジラグサ, L: ブタクサモドキ).

ミツバオヘビイチゴ *Potentilla anemonifolia*  
Lehm. f. *suoensis* Naruh. (図1D)

五剣山 1962年5月31日 平地正弘採集

最初に山口県で発見され、学名上はオヘビイチゴの品種とされているが、オヘビイチゴ

と片親不明の雑種と推定され、詳細な分類学的検証が必要である。これまでは香川県での記録はなかった。

ヒメタデ *Persicaria erectominor* (Makino)  
Nakai (図1 E)

瀬居島 1965年9月4日 山地綾子採集  
標本での表記は40. 9. 4となっているが  
生物学教室の同窓会名簿から採集者が1966年  
の卒業生であることを確認しており、採集さ  
れたのは昭和40年、つまり1965年である。こ  
れまでは香川県での記録は小豆島だけであっ  
た。環境省第4次レッドリスト(2012)にお  
いて絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。

アブノメ *Dopatrium junceum* (Roxb.) Buch-  
Ham. ex Benth. (図1 F)

塩江町内場 1964年10月24日 高橋良平採集  
(標本No.2928)

本種はかつてどこにでもみられる水田雑草  
であったが、現在はほとんどみられない。採  
集された当時はありふれた雑草であったた  
め、県内で採取された標本が見つかってい  
なかった。

キセワタ *Leonurus macranthus* Maxim. (図  
1 G)

塩江町内場1964年10月24日 高橋良平採集  
(標本No.2923)

農学部演習林1967年9月17日 高橋・田辺採  
集(標本No.3579)

これまでは香川県での記録はなかった。環  
境省第4次レッドリスト(2012)において絶  
滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。

ヤマタツナミソウ *Scutellaria pekinensis*  
Maxim. var. *transitra* (Makino) H. Hara (図  
1 H)

高松市屋島北嶺 1966年6月14日 高橋良平  
採集(標本No.3053)

これまでは香川県での記録は小豆島、三都  
半島、そして三谷(1990)の産地不明の記録  
のみである。

タウコギ *Bidens tripartita* L. var. *tripartita*  
(図1 I)

女木島 1974年9月22日 K. Ishikawa 採集  
かつては個体数は少なかったが香川県内に  
広く分布していた水田雑草で、古い目視記録  
だけで、県内で採取された標本が見つかって  
いなかった。

アキノハハコグサ *Gnaphalium hypoleucum*  
(DC.) Hilliard et B.L.Burt (図1 J)

農学部演習林 1967年 10月10日 高橋・田  
辺採集

古い目視記録はあったが、県内で採取され  
た標本が見つかっていなかった。環境省第4  
次レッドリスト(2012)において絶滅危惧Ⅰ  
B類(EN)に指定されている。

<帰化種>

ヒメクジラグサ(図1 K)

*Descurainia pinnata* (Walter) Britton

高松市仏生山町県農業試験場 1974年5月10  
日 高橋良平採集

以後確認された記録は無い。

ブタクサモドキ

*Ambrosia psilostachya* DC. (図1 L)

坂出市昭和町 1968年9月23日 和気俊郎採  
集

以後確認された記録は無い。

今回、新たな希少野生植物が見つかったこ  
とにより、改めて証拠標本の重要性が示され  
た。香川大学教育学部に収蔵されているさく  
葉標本はその重要性を認識していた少数の教  
員により維持管理されてきた。香川県には自  
然史系の博物館や自然史系の学部を有する大  
学が存在しない。そのため、香川県の自然史  
に関する標本や資料は県内外の小規模な施設  
に分散しているか、それぞれの生物群に興味  
をもつ個人が所蔵しているのが現状である。

これらの標本は、それらを所有している施設がなくなったり、個人がいなくなったりすると、散逸してしまう可能性が高い。したがって香川県と香川大学は早急に香川県の生物の標本を収蔵できる施設とそれらを管理できる専門職員を雇用し、香川県の自然史に関する標本・資料を恒久的に維持・管理できる体制を整える必要がある。

## 謝 辞

本研究成果を発表することを助めてくださり、本研究の基となったさく葉標本の維持・管理に尽力された末廣喜代一香川大学名誉教授に感謝します。

## 引用文献

- 篠原 渉 (2014) 香川大学教育学部生物学教室所蔵さく葉標本の特徴. 香川生物41. 19-31.
- 環境省 (2012) 環境省第4次レッドリスト (維管束植物). <https://www.env.go.jp/press/files/jp/20557.pdf> (2016年3月20日閲覧)
- 三谷 進 (1990) 香川県産植物目録 (Ⅲ). 高知県の植物10. 土佐植物研究会: 11-26.
- 三谷 進 (1992) 香川県のカヤツリグサ科の記録 (Ⅰ). すげの会会報3. すげの会: 25-27.